

様式 87 の 18

腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
の施設基準に係る届出書添付書類

1	届出種別				
	・新規届出（実績期間 年 月～ 年 月）				
	・再度の届出（実績期間 年 月～ 年 月）				
2	当該医療機関における直腸切除・切断術又は腹腔鏡下直腸切除・切断術の年間実施症例数				
	例 そのうち、腹腔鏡下直腸切除・切断術の年間実施症例数				
3	標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）				
	科	科	科		
	科	科	科		
4	外科又は消化器外科の常勤医師の氏名等（外科又は消化器外科について5年以上の経験を有する者が2名以上、そのうち10年以上の経験を有する者が1名以上）	常勤医師の氏名	勤務時間	診療科名	当該診療科の経験年数
		時間			年
		時間			年
		時間			年
5	緊急手術が可能な体制			（ 有 ・ 無 ）	
6	常勤の臨床工学技士の氏名				
7	保守管理の計画			（ 有 ・ 無 ）	

[記載上の注意]

- 1 「1」は特掲診療料施設基準通知第2の4の(3)に定めるところによるものであること。
- 2 「2」の腹腔鏡下直腸切除・切断術については、腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）を含めても差し支えない。
- 3 「3」の常勤医師の勤務時間について、就業規則等に定める週あたりの所定労働時間（休憩時間を除く労働時間）を記入すること。
- 4 「2」については、当該症例一覧（実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名）を別添2の様式52により添付すること。
- 5 当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。